

京都

丹波・丹後

舞鶴支局

登録有形文化財に答申された旅館「清輝楼」
—宮津市魚屋で



旅館「清輝楼」と 茶六本館」登録へ

宮津

文化審答申 国の有形文化財

国の文化審議会の19日の答申で、いずれも宮津市魚屋の旅館「清輝楼」と「茶六本館」が有形文化財に登録されることになった。市内の国登録文化財は4、5例目。

清輝楼は明治34(1901)年に建てられ、数回の増築や改修が行われている。木造一部3階建て延べ約680平方メートルの近代的な和風建築。白壁と、60畳

と45畳の大広間が特徴。

詩人の野口雨情、作家の吉川英治ら有名な文人が時折、訪れていたという。13代主人の徳田誠一郎さん(37)は「どの程度の価値があるのか分からなかったが、文化財として認められうれしい。さらに大事にしなければならぬ」と話している。

一方、茶六本館は大正前期に建造され、木造3階建て延べ約260平方メートル。日本旅館らしい落ち着いた雰囲気、1階の格子窓などが特徴とされる。

【瓜生貴一】